

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成23年1月14日)

開催日及び場所		平成22年12月15日(水曜日) 管理棟1階会議室			
委員		松本津紀雄(弁護士) 竹下清(税理士) 藤田幹夫(ジャーナリスト) 飯村光敏(公認会計士)			
審議対象期間		平成22年7月1日～平成22年9月30日			
審議対象案件		249件 うち、1者応札案件10件 契約の相手方が公益法人等の案件3件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件0件 (抽出率4%) (抽出率0%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		3件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名 競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
		随意契約		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名 競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意 契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
	その他の随意契約		0件		
	物品・ 役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争		0件	
随意契約(企画競争・公募)		0件			
随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>I 平成22年度第2・四半期入札方式別発注状況について 意見・質問なし</p>	
	<p>II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について 1. 工事 (1) 平成22年度沖永良部農業水利事業右岸排水対策(その2)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が98.6%と高いがなぜか。 ・入札の応札価格が全社あまり変わらないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格に用いる歩掛、単価を公表しているため、予定価格に近い金額を算出することは可能です。また、同様の内容の工事をこれまでも発注しており、入札結果も公表していることから精度の高い積算は可能であったと考えられます。 ・工事内容が単純で予定価格の積算が容易なためだと考えられます。
	<p>(2) 平成21年度筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業白石導水路(接続水路その1)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札とは、予定価格の85%未満の入札のことか。 ・低入札は多いのか。 ・竹中土木が辞退した理由は解らないが、辞退をしない場合どうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格は、予定価格の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費について、それぞれに定められた率を乗じた額の合計で算出します。結果として、予定価格の85%ぐらいとなっています。 ・今年度の5月以降に公告した工事より札入れ後の辞退も認められるようになり、指名停止等のペナルティがなくなったため、調査基準価格に近い金額で応札してくる業者が増え低入札が多くなったと考えられます。 ・辞退しない場合は、施工体制確認の調査を行います。例えば、施工体制評価点は低入札でない場合は満点の30点ですが、低入札の場合は、満点とはなりません。例えば10点とすると評価点加算値が10/30となり、評価点が低くなりますので、落札する可能性はなくなります。辞退したのは、その為だと考えられます。
	<p>(3) 平成22年度筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業山脚導水路(下小田西工区)工事</p>	

	意見・質問	回答等
委員からの 意見・質問 それに対する 回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・評価点を算出するのはいつ時点で行うのか。 ・幹事会のメンバーは。 ・企業評価の評価点が同じ業者で変わるの はなぜか。 ・評価点の1番良いところが、入札に参加 していれば少々入札額が高くて落札とな ることはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札公告後、技術資料を各入札参加希望 者より提出してもらい、技術審査会の幹事 会で評価を行い、技術審査会で承認し決定 します。 ・局契約工事の場合は、整備部次長、技術 審査官、原課課長補佐、土地改良技術事務 所の技術指導官の4名で構成しています。 ・企業評価の中で、手持ち工事量を評価し ているため、今年度の工事受注により、そ の都度変わることとなります。 ・評価点と価格で落札者を決めますので、 入札額が高くて落札者となり得ます。
	(4) 平成21年度玉名横島海岸保全事業 旧1号排水機場撤去その他工事(第1回変 更) <ul style="list-style-type: none"> ・変更前の価格は、いくらですか。 ・変更とするか、新規発注とするかの判断 は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約額は、2,165万円となっています。 ・通常、施工場所が違うと、別件発注とし ますが、今回の場合は、排水機場の機能が 停止すると雨による農地の浸水等による災 害が懸念されたことから、緊急な対応が必 要と判断し、工事用道路が共有できる本工 事に変更追加することで対応しています。
	(5) 平成22年度筑後川下流白石平野(二 期)農業水利事業山脚導水路(小通地区) 農地復旧工事(第2回変更) <p>意見・質問なし。</p>	
	(6) 曾於北部(一期)農業水利事業谷川 内ダム第三期建設工事 <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格に達しなかった場合はどうす るのか。 ・札入れは、複数回行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度札入れを行うこととなります。 ・基本的には3回で、今は算出精度も高 くなり、ほとんどが2回までで落札とな っています。

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>2. 業務</p> <p>(1) 平成22年度広域基盤整備計画調査 熊本地域整備計画構想検討業務</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>(2) 平成22年度肝属中部(二期)農業 水利事業管水路工事監理その他業務</p> <p>・低入札であった場合の調査の内、品質確保対策の内容は。</p>	<p>・「第三者による照査を請負者の責任において実施、屋外業務の場合は管理技術者を現場に常駐、打合せには管理技術者が立会い状況を報告」などの品質確保対策を行っています。</p>
	<p>3. 物品・役務等</p> <p>(1) 平成22年度パーソナルコンピュータ800式</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>(2) 平成22年度綾川二期農業水利事業 湛水防除実施委託事業</p> <p>・落札率が100%となっている理由は。</p> <p>・実績が限度額を下回った場合はどうするのか。</p>	<p>・受託者に限度額と委託内容を提示し、その内容で受託できるか確認した後、契約を締結しているからです。委託完了時には、受託者から実績を報告してもらい、精算を行っています。</p> <p>・その場合は、減額を行います。</p>
	<p>Ⅲ 再度入札における一位不動状況について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅳ 指名停止について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅴ 入札談合情報について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。	

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。